

○「捕獲計画の達成に向け委員として取組」を協議
(南丹市南丹地区(鳥獣害対策)小委員会第3回会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

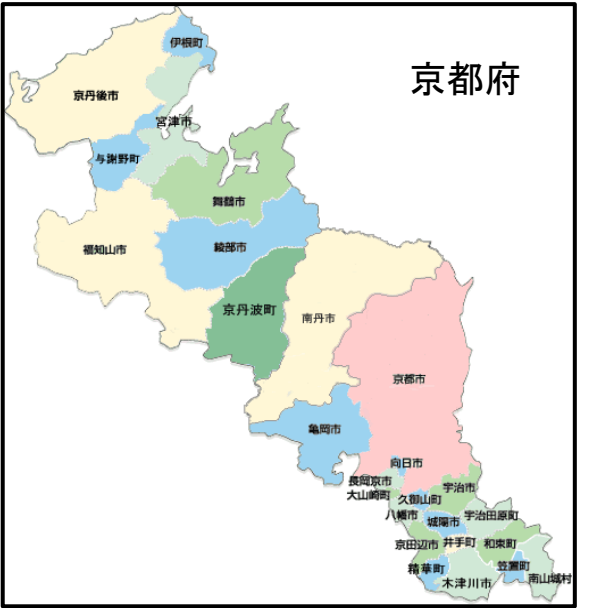
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成31年4月9日午後4時～5時
- 場 所: 南丹市国際交流会館3F 会議室
- 出 席 者: 農業委員3人 農地最適化推進委員5人
- 報 告 者: 原田清弘 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

○京都府のほぼ中央部に位置し、大半を丹波山地が占め山陰内陸性気候で京都市への通勤圏にあり年々農家数が減少している。水稲作が多くその他麦、豆類が栽培され、京のブランド産品(水菜、壬生菜、九条ねぎ、紫ずきん、黒大豆、小豆)の栽培が盛んである。
○農家戸数の減少、農業従事者の高齢化等が進行する中、農業の持続的な振興及び農地の多面的機能を維持していくためには、有害鳥獣の被害を減少させ農地を守ることが重要な課題である。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

○野々口最適化推進委員から園部町大河内地区で7名が「わなの免許」を取得、捕獲柵7個、くくりわな3個／人(21個)を区の経費で購入 昨年は猪15頭、鹿40頭を捕獲 毎年、金網等柵は点検と補修が必要等の取組を報告
○猟友会(銃保持者)員の高齢化と会員が減少し、捕獲計画の達成が困難と思慮されること等から農業委員、農地最適化推進委員も積極的に「わな」の免許取得を推進するとともに農業者にわな免許の取得を推進する取組が必要との意見
○捕獲実績を増やし、併せて市に処理施設の設置を要望する。福知山市で設置されている焼却処理施設の調査を実施

4 活動結果		
○ 情報・意見交換	1	時間
○ 担い手への集積	a	増加
○ 遊休農地面積	a	解消
○ 新規就農者		人 支援